

令和 7 年 9 月 16 日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第11回 (9/16号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は昨年に比べて前進傾向に推移しております。韮山地区では固熟期に入っていました。長岡地区の北江間、大仁地区では固熟期から穂が色つき始める黄熟期にかかっています。

大仁地区の神島では黄化籾の割合が8割程度となり収穫適期になりました。また、山間地の圃場については刈り取りが進んでいたため本日で調査を終了しました。

② 病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ず、秋ウンカの発生もありませんでした。

カメムシについても、固熟期に入っているため吸汁による被害の心配はありません。一部圃場では、内穎褐変病が散見されました。出穂期から出穂2,3日後に高温・多湿などの条件で発生しやすく、近年の高温によって発生が増加してきています。箱剤での防除がメインのため、現状での対策はほとんどありません。圃場内に確認された方は、菌が圃場内で越冬して次作に影響が出る可能性があるためフルスロトル箱粒剤の使用をご検討ください。



↑ 内穎褐変病の初期感染籾



↑ 内穎褐変病の重症感染籾

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。